



赤外線天文学大学間連携による 観測教育ネットワークOISTER

黒田大介(国立天文台)

渡辺 誠(北海道大学), 大朝 由美子(埼玉大学), 諸隈 智貴(東京大学),
齊藤 嘉彦(東京工業大学), 村田 勝寛(名古屋大学), 野上 大作(京都大学),
高橋 隼(兵庫県立大学), 秋田谷 洋(広島大学), 永山 貴宏(鹿児島大学),
関口 和寛(国立天文台), 光・赤外線天文学大学間連携観測チーム)

OISTER

国内外に中小口径望遠鏡をもつ10大学と国立天文台が連携した観測教育ネットワークを通じて、観測や解析、開発などを共同で行うことで、大学の教育と研究を促進する。



OISTERの運用

連携大学・協力機関の研究者や学生130名

協議会(1-2回/年)

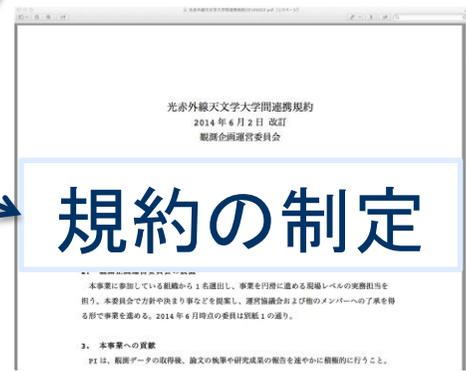
各大学・機関の責任者。
予算案や大枠の方針を協議。

観測企画運営委員会(4-5回/年+随時)

各大学・機関から1名選出
専門分野の異なる研究者をまとめ、この
連携観測ネットワークを円滑に運用する
ための体制を作る。



情報共有
Web, Wiki



円滑な連携関係のための整備

- プロポーザル制導入
- ワークショップ(1回/年), 進捗報告会(6回/年), 勉強会などの開催
- 即時アラートシステム構築
- 観測環境整備 (秋田谷 B11b)
- 短期滞在実習プログラム(大朝 B13b)
- 共通解析パイプライン開発 (斉藤 B14b)
- 共同開発環境の維持 (永山 B15c)

成果報告

- 3.5年でブレーザー、超新星、新星など25天体の観測を実施.
→ 本セッションのサイエンスの講演を参照.
- OISTERによる連携観測の成果として2編の査読論文が出版.
→ 今年度中に3-4編が投稿予定.
- OISTERから派生した協力関係や関連研究から成果として86編が出版.
→ 貢献度の割合は未調査.